

会計人材開発支援プログラムの開催状況 (2012年5月～2012年7月)

プログラム名	概要	開催日 ^{※2}
ASBJ 基調プログラム	<p><プロジェクト A、B>^{※1} [講師：加藤厚 ASBJ 副委員長] 「監査法人グループ」、「作成者グループ」、「利用者グループ」はプログラムの当日までにそれぞれの事前課題について検討を行い、プログラム当日は、まとめリーダーによる事前課題の検討結果についてのプレゼンテーションを行った後、意見交換が行われた。</p>	6/27 (A) 6/29 (B)
ACCOUNTING プログラム	<p><プロジェクト A> [講師：川西安喜 FASB 国際研究員 (有限責任あずさ監査法人)] 資産や負債の定義等について考えることを目的に、事前に与えられた課題に対するプレゼンテーション、ディベート等が行われた。</p> <p><プロジェクト B> [講師：秋葉賢一早稲田大学大学院会計研究科教授] 企業価値の評価を考慮した意思決定に有用な情報、資産の「支配」と企業の「支配」等のプレゼンテーション、ディスカッション等が行われた。</p>	5/14 (A) 6/13 (A) 7/6 (A) 5/22 (B) 6/28 (B) 7/26 (B)
writing トレーニング	<p><プロジェクト A> 2回のレポート提出後に講義が行われた。また、レポ取引についての会計処理に関する課題等についてレポートの提出が行われた。</p>	5/29 (A) 6/21 (A) 7/26 (A)
ディスカッション・トレーニング	<p><プロジェクト A> [講師：Markus Fucks 氏 (有限責任あずさ監査法人)、Trevor Tisseverasinghe 氏 (あらた監査法人)] IFRS 第3号企業結合は有用か否か、IFRS 第9号金融商品の分類と測定は2010年IAS第39号より優れているか否か等について、英語でのディスカッションが行われた。</p> <p><プロジェクト B> [講師：Trevor Tisseverasinghe 氏] 日本の上場会社は、2017年までにIFRSをアダプションするべきか否かについて、英語でのディスカッションが行われた。</p>	5/30 (A) 6/20 (A) 7/4 (A) 5/28 (B)
IASB UPDATE プログラム	<p><プロジェクト A、B> 鷲地隆継 IASB 理事、湯浅一生 IFRS 解釈指針委員会委員 (富士通株)、ASBJ メンバーが講師となり、最近のIASBの基準開発の状況等について説明及び質疑応答が行われた。</p>	6/4 6/18 7/4

プログラム名	概要	開催日 ^{※2}
国際舞台で活躍する者との交流プログラム	<プロジェクト A、B> 山田辰己 FASF 顧問 (IASB 前理事) より、IASB 理事としての経験についての講話があり、その後、意見交換が行われた。	6/6
市場関係者交流プログラム ^{※3}	<プロジェクト B> 八木健日本証券アナリスト協会常務理事、金子誠日本証券アナリスト協会参与教育第二企画部長 (IFRS 諮問会議委員、IASB-CMAC メンバー)、山田浩史パナソニック(株)理事・東京支社経理グループグループマネージャー (IASB-GPF メンバー)、石黒徹次郎三井物産(株)経理部会計基準室次長 (IASB-GPF メンバー) が講話を行った後、参加者及び講師によるグループディスカッション、プレゼンテーション等が行われた。	6/28 (B)

※1 プロジェクト A は IASB プロジェクト・マネージャーレベルの人材育成を目標とし、プロジェクト B は IASB 理事候補や IFRS 解釈指針委員会委員候補、IFRS 諮問会議委員候補、ASBJ 常勤委員 (国際担当) 候補等の輩出を目標としている。

※2 (A) はプロジェクト A、(B) はプロジェクト B での実施。

※3 合宿形式での実施。

2012 年 7 月 24 日に「第 6 回会計人材開発タスクフォース」を開催し、会計人材開発支援プログラムの進捗状況、フィードバック情報の提供、来年度のプログラム等に関して議論を行った。